

タフガードスマート バルーン工法 1000仕様

エポキシ系プライマー／エポキシ系パテ／厚膜柔軟形ポリウレタン系中塗／柔軟形ふっ素系上塗

適応規格:東日本旅客鉄道株式会社「土木工事標準仕様書」表面被覆工法規格適応

工程	塗料名 (一般名称)	標準 膜厚 ( $\mu\text{m}$ )	標準 使用量 ( $\text{kg}/\text{m}^2$ )	塗装 方法	塗装間隔 (23℃)	シンナー名 (希釈率)
素地 調整	サンダーケレン・シンナー拭き・ブラシやエアブロー・その他事前に決められた方法により、段差修正やレイタンス・塩分・油脂分などの異物や脆弱層を除去し平滑にする。又、欠損部、鉄筋露出部分や漏水分がある場合は別途鉄筋防錆、埋め戻し等の断面修復や止水、導水処理を事前に実施する。					
プライ マー	タフガードEプライマー (エポキシ樹脂プライマー)	—	0.10	ローラー、 ハケ等	4時間 ～ 7日	タフガード エポキシシンナー (0～20%)
パテ	タフガードEパテN-2 (エポキシ樹脂パテ)	—	0.50	ヘラ、コテ等	16時間 ～ 7日	—
中塗	タフガードBD中塗#100 (厚膜柔軟形ポリウレタン 樹脂塗料中塗)	1000	1.80	ローラー、 ハケ、ヘラ、 コテ等	16時間 ～ 5日	タフガード ウレタンシンナー (0～5%)
上塗	タフガードFD上塗 (柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗)	30	0.12	ローラー、 ハケ等	—	タフガード ウレタンシンナー (10～20%)

- \*1. パテの使用量はコンクリート素地の状態によって大幅に変動します。
- \*2. 中塗の塗装はローラー(ウール、マスチック)などで配り、コテ(金、ゴム)で仕上げる方法を推奨致します。
- \*3. 剥落防止性能発揮のため中塗使用量を守って膜厚確保に注意し塗装して下さい。特にコーナー部などは先行塗りなどを実施下さい。

・製品安全に関する詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. ※この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。

2020年10月現在